

共用設備のデータベース化による設備有効利用システムの構築

一次調査

宮崎大学資産一覧表

分類

研究教育設備

選別

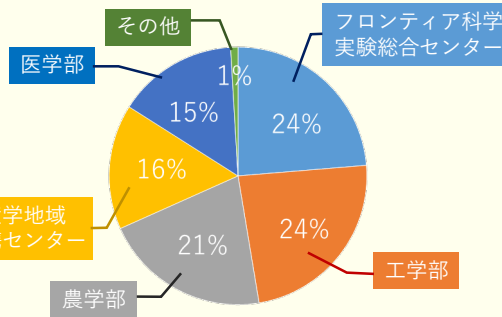
500万円以上の設備
調査対象：325件

調査

調査内容

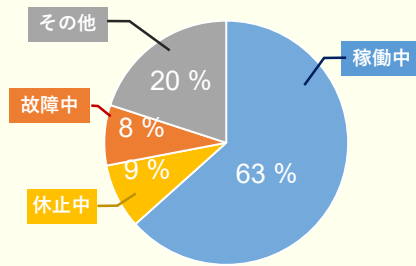
- 稼働状況
- 共同利用可否
- 設備公開可否
- 共同利用の実績

選別結果

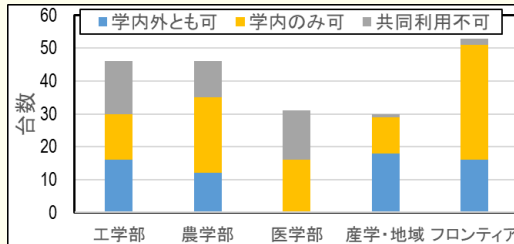


対象設備の保有内訳

調査結果



設備の稼働状況



共同利用の可否

調査結果

- 稼働可能状態の設備が7割程度である
- 故障中、その他（廃棄済み、廃棄予定等）の設備の割合が高い
- 共同利用可否については部局により特色がある
 - 工学部、農学部：学外可あり
 - 医学部：学内のみ
- 共同利用施設の設備は共同利用可の割合が高い

資産管理上の課題

- 廃棄済みの設備が台帳に残っている
- 所在不明の設備がある
- 管理替え設備について未変更がある
- 分かりにくい資産名称がある

二次調査

結果

設備情報データベース

調査内容

- 資産情報：資産名称、資産番号、導入年月日、購入価格、使用者名称 等
- 設備情報：分類大項目、設備名称、メーカー、主な用途、概要、担当者 等
- 利用情報：学内予約可否、学内公開可否、一般公開可否、学内利用形態 等
- 稼働情報：稼働状況、使用頻度、保守契約、特記事項、研究成果 等

調査結果

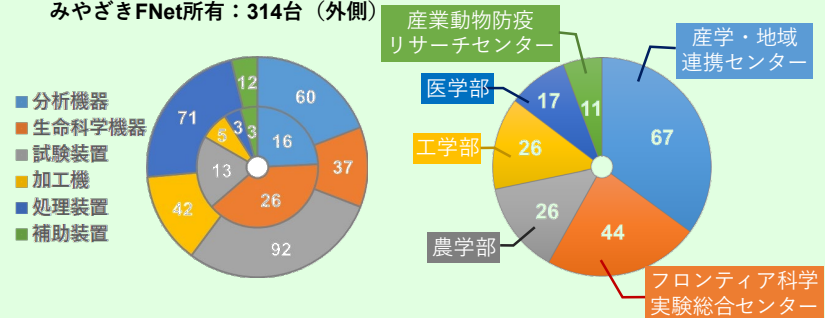
(みやざきFNetの登録設備を含む)

一般公開設備

宮崎大学所有：66台 (内側)
みやざきFNet所有：314台 (外側)

学内共同利用設備：191台

(本システム外の設備：約80台)



一般公開設備の内訳(台数)

学内共同利用設備の所属内訳(台数)

工夫した点と課題

1. 工夫した点

- 運営委員会を通じて、全学の取り組みであることを周知してもらった。
- 調査を2ステップにしたことにより、協力が得やすくなった。
- 調査表について、プルダウン選択等の工夫をした。
- 回答が遅れた担当者については、訪問し直接話を聞くことにより、共同利用についての課題、要望等の情報が得られた。

2. 共用化の課題、要望等

- 運転経費、修理費用の負担をどうするか。
- 利用料金（学内、学外）の設定がされていない設備が多い。
- 教員に係る負担をどうするか。
- 徴収した利用料金の分配と年度繰り越しできないか。

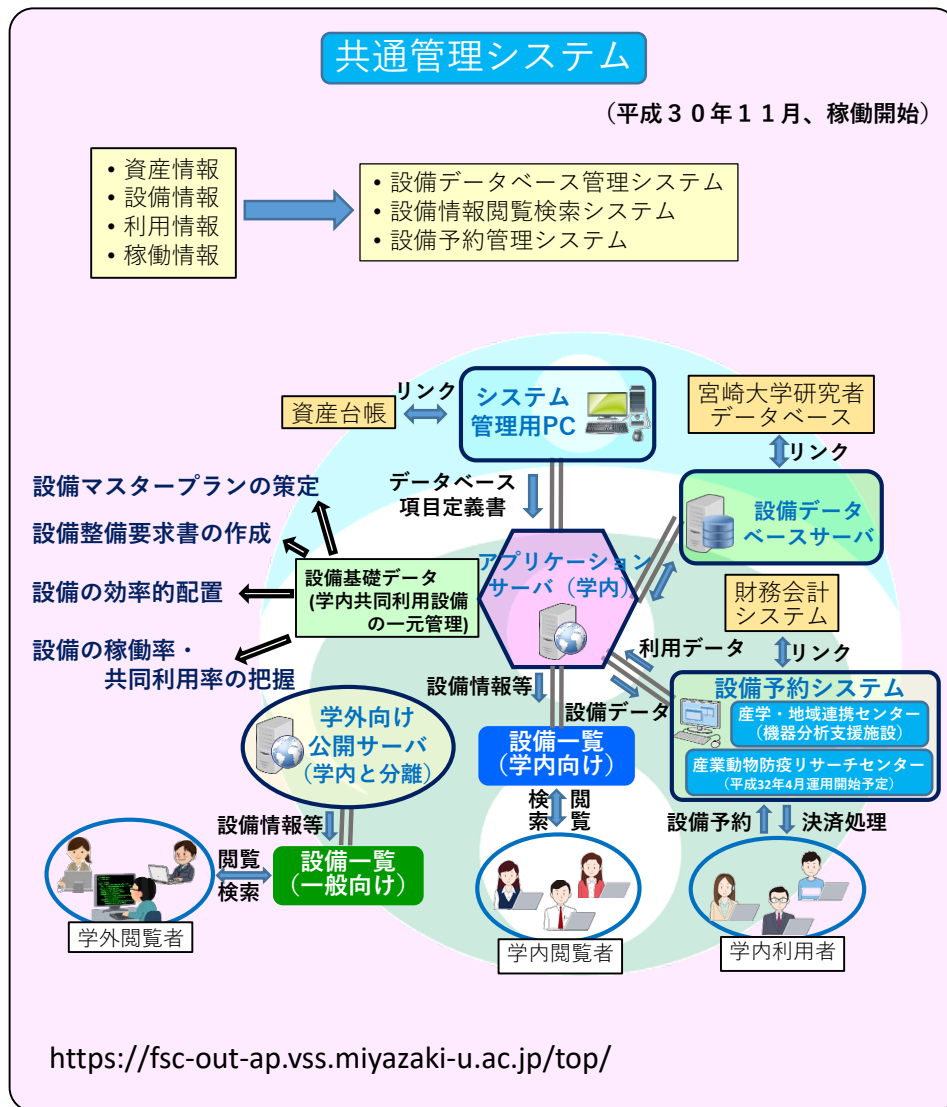
共用設備のデータベース化による設備有効利用システムの構築

1. アピールポイント

- ① セキュリティ対策：
 - ・ SSO認証システム
 - ・ 学内と学外のサーバーの分離
- ② 拡張性：
 - ・ データベースの共通化により学内展開が容易
- ③ 学内他システムとのリンク：
 - ・ 資産台帳 → 利用料金の設定
 - ・ 財務会計システム → 利用料金の決済
 - ・ 研究者データベース → 利用設備と論文の紐付け
- ④ 設備閲覧・検索システム：
 - ・ 学内向けと学外向けに設備をわける
- ⑤ 設備予約システム：
 - ・ 教職員は予約時に予算コードの選択可能
 - ・ 指導教官が登録した学生のみ利用可能
- ⑥ みやざきFNet所有設備の閲覧・検索が可能

2. 今後の課題

- ① 設備共用化へのガイドラインの作成
 - 学内：共用化の運用ルール、利用料金算出法の策定
 - 学外：受託試験料金設定、運用ルールの策定
- ② 学内の他の予約システムとの一元化
 - 設備情報データベースを一元化し、システムを統一
- ③ 学外の認知度が低い
 - 地道な広報活動
 - 産学コーディネーター、同窓会等との連携
- ④ 本事業終了後の継続性
 - 全学的な取り組みの定着：既存組織の役割分担



参考：宮崎大学設備サポートセンター整備事業の概要

整備事業の目的

全学的な設備マネジメント機能を強化することにより、地域ニーズに応える研究推進及び人材育成ならびに産学官にわたる設備サポートを実施し、地域社会の発展に寄与する。

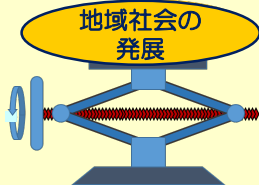
設備マネジメント機能の強化

- ・ 学内共同利用設備の一元管理
- ・ マネジメント・技術スタッフの配置・育成
- ・ ガイドラインの策定
- ・ 利用環境の整備

学外機関とのサポート体制構築
設備共同利用推進



地域ニーズに応える研究推進
地域ニーズに応える人材育成
産学官にわたる設備サポート



URL: <http://miyazaki-u.ac.jp/crcweb/fsc-uom>

推進体制

宮崎大学

設備マネジメント実施体制

理事
(研究・企画担当)

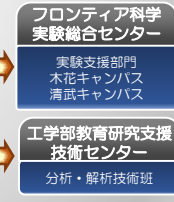
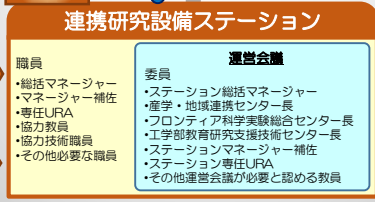
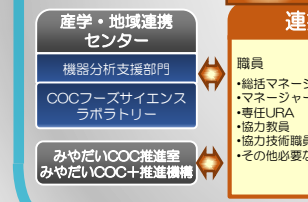
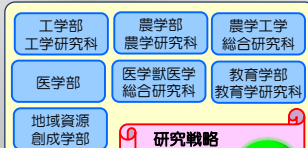
設備マスタープランの策定
学内外における設備共同利用推進

共同利用設備管理委員会

- ・ 副学長 (研究・企画担当)
- ・ 副学長 (機能強化推進)
- ・ 産学・地域連携センター長
- ・ フロンティア科学実験総合センター長
- ・ 工学部教育研究支援技術センター長
- ・ 各学部研究担当副学部長
- ・ その他学長が必要と認めるもの

宮崎大学等の
設備情報

研究支援



宮崎大学の実施体制

理事(研究・企画担当)の下、全学における設備の共同利用促進、効果的かつ効率的な設備の配置を図るために、連携研究設備ステーションを中心に設備サポートセンター整備事業を推進する。

みやざきファシリティネットワーク



県全体で連携し
効率的に
設備を活用して
課題解決!

共同研究の創出

知的財産の創出

設備サポート

- 設備の相互利用**
 - ・ 設備利用料の優遇
 - ・ 設備の有効活用
- 設備情報の共有**
 - ・ 設備リストの構築・共有
 - ・ 設備整備戦略の共有
- 設備利用技術の共有**
 - ・ 設備利用技術の継承・高度化
 - ・ 設備利用技術者の人材育成

みやざき Fnet

宮崎県内の高等教育機関、地方公共団体、公設試験研究機関及び関連機関が連携し、設備の相互利用、情報共有並びに利用技術の共有による研究基盤の強化に取り組む。